

謹啓

立夏の候、貴殿におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、この度、五月二十四日（日）に開催された「佐渡國鬼太鼓どっこむ」は、皆様のおかげをもちまして、盛大かつ無事に終了する事ができました。これもひとえに皆様方の御支援、御協力の賜物と感謝致しております。

二十三日に行われた佐渡観光協会主催の前夜祭も約百名のお客様が来場し、立って拍手を受けるほどの大盛況でした。

また、地酒と甘酒の振る舞いも大変好評で、おかわりが足らなくなるほどでした。

二十四日の一日開催というスケジュールにもかかわらず、芸能二十四団体、物産二十五団体の総勢六〇〇名超が参加し、地元の伝統芸能の披露と物産の販売に汗を流してがんばって頂きました。

当日の天候は、これ以上無いという快晴に恵まれ、開会早々から続々とお客様が来場し、あっという間に満員の状態となりました。その流れは最後まで途絶える事が無く、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

四年前に十周年を記念して行なわれた北越高校書道部の書道パフォーマンスの「響」の文字は、「魂に響け」という熱い想いとともに、芸能団体の皆様に大きな力を与え、佐渡の伝統芸能の奥深さを観客の皆様にご伝える事が出来たと思います。また、物産販売コーナーでは佐渡の工芸品や民芸品、手打ちソバや焼き立てのお菓子、そして、地魚の炉端焼きや干物などの旬の海産物を求める長蛇の列ができ、身動きがとれない場面もありました。

観客動員数も過去最高の一万八千人を数え、大変感激致しております。今後は、これまで培ってきた経験を生かして、地元の若い力を結集し、若者達が誇りを持って暮らせる佐渡ヶ島を目指し、この佐渡に一人でも多く増えていくよう取り組んでいく所存であります。そして、このイベントが観光の起爆剤として全国に発信され、今後の佐渡観光の発展に一役かえるよう、今後とも御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

敬具

平成二十七年五月二十五日

佐渡國鬼太鼓どっこむ実行委員会

会長 斎藤 勉